

令和元年度資金収支状況について

1 資金収支

令和元年度における歳計現金等（歳計現金及び雑部金）の残高は、年度当初が約164億3千百万円、令和2年3月末では約147億9千4百万円であった。

その間、一日あたりの平均残高は、約74億5千5百万円、最高残高が約164億3千百万円、最低残高は△1億6千6百万円であった（表1参照）。また、歳計現金等の不足を補うため、財政調整基金から1回繰替運用を行った（表2参照）。

表1 歳計現金等残高比較 (単位：百万円)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
最高額	20,670	17,980	16,431
最低額	3,807	2,115	△166
平均額	9,965	7,434	7,455

表2 財政調整基金からの繰替運用実績

月	繰替期間	繰替額	金利	繰替日数	支払利子
3	R2.3.19 ~ R2.3.23	23億円	0.01%	4日間	2,521円

2 基金運用

令和2年3月末現在における積立基金の残高は、約702億円であり、前年同期に比べ、約29億円の減となっている。

平成25年4月から開始された大規模な金融緩和政策によって市場には大量の資金が供給され続けるなか、平成28年2月より実施されている日銀のマイナス金利政策の影響は非常に大きく、現在においても金融機関の定期性預金金利及び債券利回りは極めて低い水準となっている。

このような状況の下、基金の運用は、極力普通預金での保管を減らし、安全性及び流動性を確保できる大口定期預金等による運用を継続してきた。その結果、令和元年度の運用益は約3千4百万円、運用利回りは約0.05%となった（表3参照）。

なお、令和2年3月末の積立基金運用状況は、表4を参照。

表3 積立基金運用益比較

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年度末残高	70,361,236,130 円	73,124,748,647 円	70,240,580,580 円
運用益	53,583,197 円	69,486,837 円	34,637,172 円
運用利回り	0.08%	0.09%	0.05%

表4 積立基金運用状況（令和2年3月31日現在）

（単位：円）

基 金 名	残 高	運 用 種 別		
		普通預金	債 券	定期性預金
財政調整基金	30,108,063,667	4,180,028,667	598,035,000	25,330,000,000
社会福祉施設整備基金	3,584,648,481	34,648,481	500,000,000	3,050,000,000
減債基金	1,434,356,957	1,234,356,957	200,000,000	0
義務教育施設整備基金	21,366,304,030	236,304,030	0	21,130,000,000
平和基金	100,980,001	1,000,001	99,980,000	0
区営住宅整備基金	1,115,725,548	5,725,548	0	1,110,000,000
介護給付費準備基金	2,890,072,915	240,072,915	0	2,650,000,000
道路・公園整備基金	3,068,004,484	1,268,004,484	0	1,800,000,000
まちづくり基金	6,475,541,358	695,541,358	0	5,780,000,000
区民公益活動推進基金	1,953,301	1,953,301	0	0
環境基金	94,929,838	44,929,838	0	50,000,000
計	70,240,580,580	7,942,565,580	1,398,015,000	60,900,000,000